



# SMILE ASIA in Cambodia

Quality of Life and Happiness for Women and Children

## ～ 2020 年度の活動レポート ～

ACCU が現地カンボジアの NGO と連携して展開している SMILE プロジェクト。2020 年度も個人・法人の皆さまの温かいご支援のおかげをもちまして、無事事業を実施することができました。新型コロナウイルス感染症の影響で例年通りの識字クラスは開講できませんでしたが、今までの事業の振り返りや今後の事業展開に向けて、旧学習者へのインタビュー調査やカンボジア国内のプロジェクトの調査を実施しました。活動内容をご報告します。

### カンボジア国内の新型コロナウイルス感染状況

感染者数：89,641 人

死者数：1,808 人

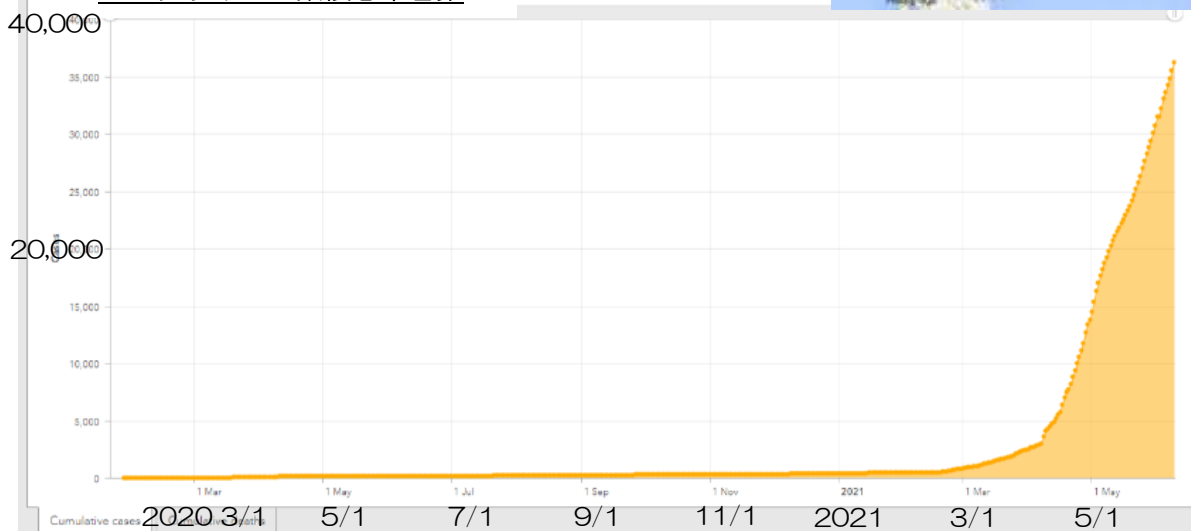
ワクチン接種状況：18 歳以上の 88%が1回目の接種完了、79%が2回目の接種を完了 (2021.8.23 時点)

カンボジア国内では大人数での集まりの禁止、学校の休校などの措置が取られています。また、地方によっては、マスク着用や手指消毒も要請されています。



### コロナウイルス累積感染者数

Cumulative confirmed cases



### コロナウイルスによる教育セクターへの影響

2020 年 3 月に学校が休校となりました。一時は規制も緩和されましたが、2021 年 3 月に感染者数の増加に伴い、再び一斉休校となりました。300 万人以上の生徒(未就学児から高校生まで)に影響を与え、休校により女児の早婚や、妊婦、家庭内暴力へのリスクも増えているという報告もあります。また、学校教育同様、地域の学習センター、識字教室、収入向上のためのクラス等も休講となりました。加えて、オンライン教育のための設備や装置が不十分であることや、ネットワーク環境の悪さも学びの継続を妨げる一因となりました。

### カンボジア国内の関連団体調査

カンボジア国内の他団体の教育資源やプロジェクトを調査することで、コロナ禍など非常事態に陥っても、学びの場を継続して提供することができる効果的な方法や他団体との今後の連携について検討をしました。オンライン教材を制作し、テレビチャンネルを通じて授業を放映しているカンボジアのノンフォーマル教育省や、工場労働者向け識字

プログラムを実施しているユネスコプノンペンでの取り組みなど、多くの有益な情報を得ました。またその他のカンボジア国内で活動する団体の中には、コミュニティーラーニングセンター(日本でいう公民館)運営のための人材育成を支援するプロジェクトや、管理・監督の立場にある人々を対象に、トレーニングチームを作り、母子保健や栄養に関するビデオ等を使用しながら能力開発を行うものもありました。今後のSMILEプロジェクトにおいても、現地のパートナー団体のファシリテーション育成や、オンライン教材の導入等参考にしていきたいと思っております。

## 旧学習者へのインタビュー

2020年度は、過去にSMILEに参加した方へのインタビュー調査を実施しました。識字環境を含む彼女らの生活環境が識字技能の維持レベルにどのような影響を与えるか、またSMILEプロジェクトへのフィードバックをヒアリングしました。インタビュー協力者には食料などの生活物資が支給され、コロナ禍で困窮している旧学習者への支援も行いました。



食料などの生活物資支給の様子



コロナ禍でのインタビューの様子

## フードパッケージの中身

- ・お米
- ・インスタントヌードル
- ・醤油
- ・魚醤
- ・魚の缶詰
- ・フライ油

## 旧学習者へのインタビュー調査結果

旧学習者へのインタビューを通して、識字環境を含む生活環境が識字技能の維持レベルにどのような影響を与えるか、大きく5つの項目に分けて、調査を行いました。

### (ア)居住地

身近な地方都市へアクセスがしやすいほど、識字に触れる機会も増え、識字技能を維持しやすい環境であることが分かりました。

### (イ)職業

農業従事者や家事手伝いに従事するような比較的時間に余裕がある、あるいは自らの意思で学習の時間を確保できる環境にある職業の人たちが識字技能を維持しやすい傾向にあることが分かりました。一方で、職業にかかわらず、個人の意識による差が非常に大きいことも判明しました。

### (ウ)メディア機器の家庭内所持

スマートフォンなどのメディア機器については、所持・不所持が識字技能の維持に影響を与えている可能性は低いことが見えてきました。

## (工)読み書き計算の素材

読み書き計算の素材については、「標識や商品ラベルなど」の識字環境が存在するだけでは不十分で、適当なボリュームのレベルの活字を有した識字素材へのアクセスが、識字技能レベル維持のカギになると考えられました。

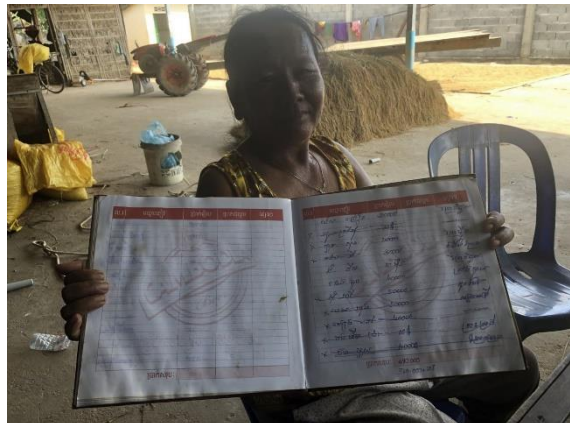
## (才)読み書き計算の実践

読み書き計算の実践としては、「新聞や本を読む」また、「帳簿をつける」習慣のあるグループの方が、ないグループよりも識字技能を維持している傾向にあることが分かりました。

### 学習者から SMILE へのメッセージ

#### 最も楽しかったこと、有益だったこと

- 実生活に役立つ技術を学べたこと。  
例えば、家庭菜園や家畜の育て方、商売に役立つ計算技術など。
- グループディスカッションや月例会合などの時間を楽しんだ。



### SMILE 運営者へのメッセージ

- まだ読み書きのできない村の女性や、学校を中退してしまった子供や若者のために、改めて SMILE クラスを開講してほしい。
- 女性同士で集まって、村のことを話し合ったり、情報共有したりする機会があると嬉しい。
- ポストリテラシークラス(一定期間の基礎的な識字学習を終えたあと、識字能力の維持と向上のために継続して行われる識字教育クラス)を開講してほしい。

### 例年の SMILE 教材と学習キット

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、SMILE の識字クラスは開講することができませんでしたが、例年のクラス開講時の学習キットをご紹介します。参加者一人ひとりに学習キットが手渡され、キットの中には、教科書、ノートやペンなどの文具、アルファベット表に加えて、保健衛生の実践学習のために石鹸やタオルも入っています。教科書は、母子保健をテーマに読み書き計算の知識を習得できるように構成された SMILE オリジナルです。クラスで使う黒板やチョークは、州教育事務所からの寄附によるものです。行政も SMILE を支援してくれています。



### 例年のクラスの様子

例年、SMILE の識字クラスは8か月にわたり週2日間、一日当たり2時間で進みます。クラスでは、村長などから推薦を受けた地域の人材がファシリテーター（先生）として指導にあたります。同じ村の人なので学習者からの信頼も厚く、和気あいあいとした雰囲気です。ファシリテーターは、一方的に教えるだけでなく、学習者が自分で作った文章を皆の前で発表したり、ロールプレイングやグループディスカッションで教科書に出てくるトピックについて話し合ったり、理解を深める工夫を取り入れて知識の定着を図っています。



### 読み書きの力で女性に笑顔を！

カンボジアの SMILE プロジェクトは個人と企業の皆さまからの寄付によって支えられています。アジア太平洋の女性を応援するためのご支援をお願いします。

郵便振替口座： 00120-7-365298

口座名義： ACCU アジアの女性識字振興募金

※ACCU は公益財団法人ですので、寄付金控除の対象となります。

